＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
省エネエアコン普及促進事業

1 事業概要

【経緯】
令和４年度に実施した、環境省のモデル事業である熊谷市省エネエアコン定額利用制度において、省エネエアコンの購入に対し、住民のニーズがあることが判明しました。

【目的】
省エネエアコンの普及を促すことにより、地球温暖化対策に資するとともに、市民の熱中症予防の一層の推進を図り、生命と健康を守ることを目的としています。
また、省エネエアコンの購入を熊谷市内の店舗に限ること、補助金を「まち元気」熊谷市商品券にて交付することにより、熊谷市の地域経済の活性化に繋げます。

【内容】
熊谷市内の店舗で省エネエアコンを購入した方に「まち元気」熊谷市商品券を補助金として交付します。

【効果】
省エネエアコンが普及することにより、使用電気量の適正化による二酸化炭素排出量の削減と、熱中症予防が期待できます。

2 特徴やPRポイント

【ＰＲポイント】
20年前（2003年製造）のエアコン（7～10畳用）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.0、7～10畳用）へ入れ替えた場合、年間消費電力量301kWh削減、年間電気代9,330円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量137kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると9.8本分になります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　048-536-1547(直通)　　内線　206

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷市地球温暖化対策実行計画の改定及び脱炭素ロードマップの策定（環境政策業務経費）

1 事業概要

【目的】
本市は、令和4年10月28日（金）に「ゼロカーボンシティくまがや」を宣言しました。
2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを達成するために、地球温暖化対策の推進をはじめ、より一層様々な施策の検討を進めることを目的としています。

【内容】
カーボンニュートラルを達成するために、第2次熊谷市環境基本計画後期計画の策定（令和5年度実施）に際し、熊谷市地球温暖化対策実行計画を見直すと同時に、地域の成長戦略ともなる地域脱炭素の行程と具体策を示す熊谷市版脱炭素ロードマップを策定します。

【効果】
熊谷市として取り組むべき事業や課題を明確にし、2050年のカーボンニュートラルに向けてスムーズな事業展開が行えるようになります。

2 特徴やPRポイント

【ＰＲポイント】
脱炭素ロードマップを策定することにより、官民一体となって2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　048-536-1547(直通)　　内線　206

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
電気自動車等充電設備普及事業

1 事業概要

【目的】
　電気自動車（ＥＶ）やプラグインハイブリッド車（ＰＨＶ）充電設備の設置を促進し、ＥＶやＰＨＶの更なる普及を目指します。

【内容】
　次世代自動車振興センターの補助金（以下、ＮＥＶ補助金）を受けて設置した充電設備が補助対象です。
　補助金額は、補助対象経費からＮＥＶ補助金を控除した金額の２分の１とし、上限は３０万円です。

【影響】
　ＮＥＶ補助金に上乗せし補助金を交付することで、設置者の費用負担軽減と、ＥＶやＰＨＶの普及を目指します。

【効果】
　温室効果ガス排出削減につながります。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
　「商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業（目的地充電）」に加え、「マンション、月極駐車場及び事務所・工場等への充電設備設置事業（基礎充電）」を補助対象としています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　環境部環境政策課　　担当　大澤
連絡先　048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
汚泥再生処理センター整備事業

1 事業概要

【目的】
本市が所有する３つのし尿処理施設の機能を集約した（仮称）汚泥再生処理センターを現在の第一水光園の敷地内に整備する。

【内容】
令和５年度は建設予定地である現在の第一水光園の敷地内の地質調査、地下埋設物調査及び測量を実施する。併せて、公共下水道への放流管敷設予定の道路の測量を実施する。

【経緯】
①令和元年度　「熊谷市し尿処理施設整備基本計画（アセットマネジメント基本計画のし尿処理施設に関する個別施設計画）」策定
・既存３施設（第一水光園、荒川南部環境センター、妻沼南河原環境浄化センター）の再編方針を決定。

②令和３年度　「熊谷市循環型社会形成推進地域計画」策定

③令和４年度　「汚泥再生処理センター整備基本計画」策定中
・施設規模や事業方式の決定

2 特徴やPRポイント

【特徴】
汚泥再生処理センターでは、し尿・浄化槽汚泥等の固液分離を行い、分離液は希釈処理して流域関連公共下水道へ放流し、最終的に埼玉県が管理する元荒川水循環センター（桶川市）で処理される。

3 その他

稼働開始は、令和１２年度の予定である。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　環境部環境推進課
連絡先　048-536-1570（直通）
担当　環境部　環境推進課　木村･落合
内線　048-536-1570（直通）

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷桜堤桜診断事業

1 事業概要

【目的】
熊谷桜堤（新堤緑地）のソメイヨシノについて、樹木医による樹木診断を実施することにより、桜の健全な育成を図り、将来にわたって美しい景観を維持することを目的とします。

【内容】
ソメイヨシノ約500本のうち、樹勢調査の結果が良好ではなかった桜と樹齢50年以上の桜を対象に樹木診断を委託します。

【影響】
熊谷桜堤の桜を適正に管理することで、春の桜のシーズンには美しい桜が咲き誇り、賑わいの創出に繋がります。

【効果】
樹木の専門家である樹木医の診断を受けることで、近年被害が多く確認されているクビアカツヤカミキリなどによる被害や、ベッコウタケなどのキノコによる腐朽状態を把握することができます。

2 特徴やPRポイント

桜の名所でもある「熊谷桜堤」は、本市の魅力を伝える上で欠かせない場所となっています。この美しい景観を後世に引き継いでいくため、定期的に樹木診断を行うとともに、桜の植え替えを計画的に取り組んでいきます。

3 その他

同様の取り組みを行った平成30年の樹木診断では、結果に基づいて平成30年度10本、令和元年度16本、令和2年度12本、令和3年度12本、令和4年度12本（予定）の植え替えを行いました。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　都市整備部公園緑地課　　担当　水野
連絡先　0493-39-4806（直通）　　内線